

第3次大府市環境基本計画 見直し改定版 概要

エコ・フレンドリープラン

～人と自然が共生する みらい輝く健康都市～



見直し改定の背景と目的

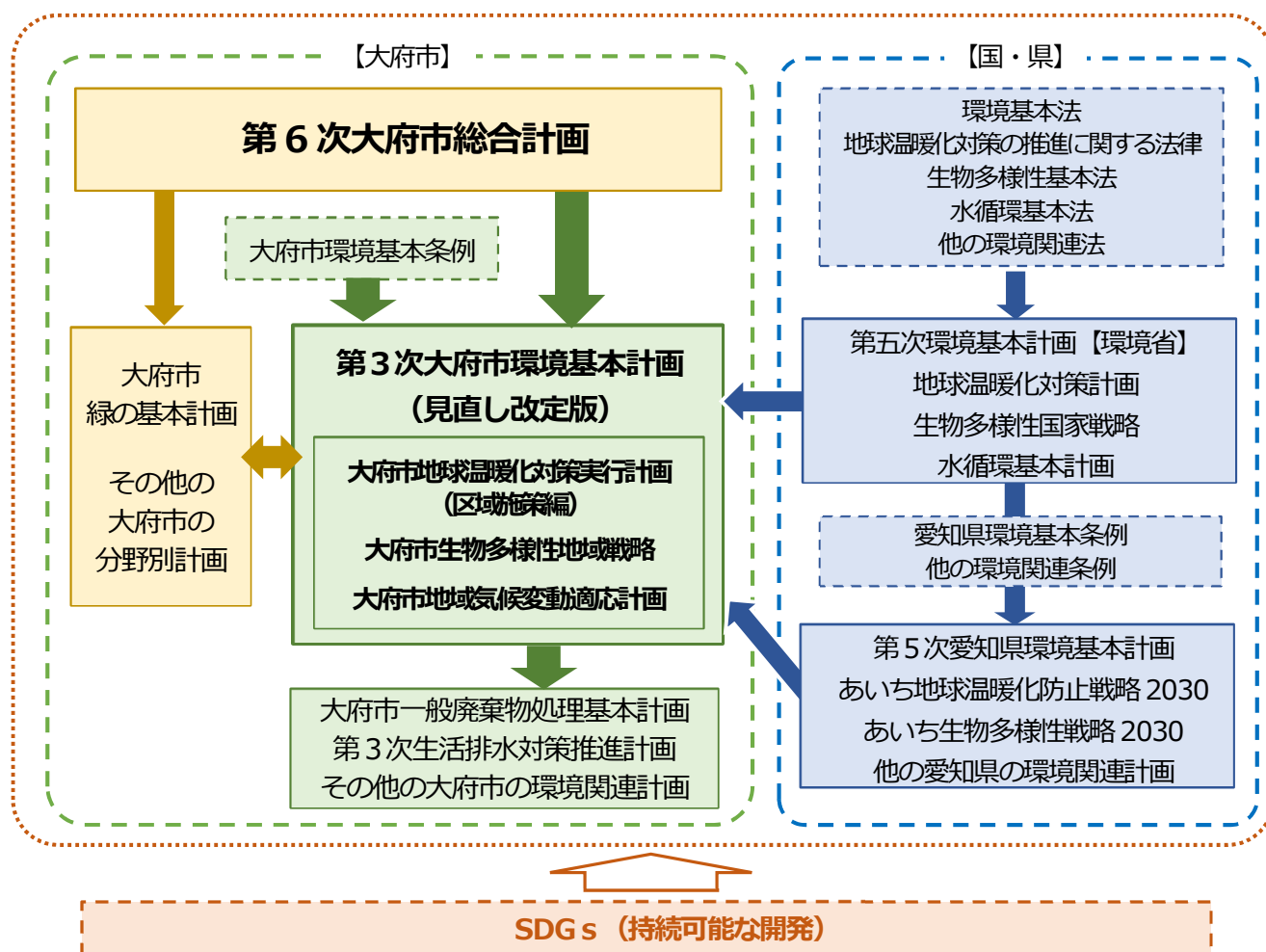
2021年1月にゼロカーボンシティを表明し、「2050年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」を目指すため、3月に第3次大府市環境基本計画を策定しましたが、その後、国の地球温暖化対策計画の改定（2021年10月22日閣議決定）があり、国は2030年度における温室効果ガスを46%削減し、さらに50%削減の高みを目指すことを表明しました。また、本市は2022年8月に「世界首長誓約/日本」に署名しており、国の温室効果ガス排出量の削減目標以上を目指すことなどを誓約しております。これらの国や本市の変化を踏まえ、中間見直しとして「第3次大府市環境基本計画 見直し改定版」を2024年12月に策定しました。

なお、本計画では、以下の計画を含めて策定しています。

- 大府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
- 大府市生物多様性地域戦略
- 大府市地域気候変動適応計画【新たに追加した計画】



2 計画（見直し改定版）の位置付け及び計画期間



(1) 計画の位置付け

本計画は、2020 年3月に策定された「第6次大府市総合計画」の環境分野の分野別計画としての役割を担っており、本市のその他の分野別計画と整合を図っています。また、本市の環境行政のマスタープランとして、「大府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」、「生物多様性地域戦略」及び「大府市地域気候変動適応計画」を含めて策定する総合的な計画です。本計画の策定にあたっては、国の「第五次環境基本計画」、県の「第5次愛知県環境基本計画」をはじめとした、環境関連計画の内容も踏まえて策定しています。さらに、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）への貢献やゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進する計画としています。

(2) 計画期間

本計画の期間は、2025 年度から 2030 年度までの6年間とします。なお、本計画は毎年度実施状況をチェックするとともに、本市の環境状況や社会経済状況などにより必要が生じた場合は、計画の期間中に見直しを行います。

3 環境将来都市像及び基本理念

(1) 環境将来都市像

《第3次大府市環境基本計画の環境将来都市像》

人と自然が共生する みらい輝く健康都市

～安心して暮らし続けることができる まちを実現しよう 我がまち大府で～

(2) 基本理念

《環境将来都市像を実現するための基本理念》

**一人ひとりが自分のこととして環境を意識し、
学び、気づき、そして行動する市民を育む**

4 大府市地域気候変動適応計画について

「世界首長誓約/日本」への署名を受け、国の「気候変動適応計画」及び「気候変動影響評価報告書」、「愛知県気候変動適応計画」を参考に、気候変動がもたらす影響被害を可能な限り回避することを目的として策定したものです。基本戦略として以下の4つを掲げています。

基本戦略

- ① 本計画に関する施策全般にわたって、気候変動適応に取り組む。
- ② 優先的に取り組む分野を設定する。（優先分野：自然災害・健康・市民生活）
- ③ あらゆる主体と連携・協働して、地域特性に応じた対策を講じる。
- ④ 気候変動に関する情報の収集・提供体制を整備する。

5 基本方針・基本施策

多くの市民が望んでいる安心・安全・快適な生活環境づくりには、安定した幹（骨格）が必要です。また、その幹を育てるためには、主体的に活動する人や地域協働による連携の根（基盤）を張り巡らせることが重要です。

本計画を推進することで広く根を張り巡らせ、太くて丈夫な幹を育てることにより、『循環型社会』、『脱炭素社会』、『自然共生社会』といった本市の環境を守る枝葉（成果）が育まれ、持続可能な環境将来都市像を実現します。本計画の環境将来都市像を実現するための基本方針及び基本施策を以下のように設定します。



《施策体系：基本方針＞基本施策＞単位施策》

《基本方針1》

持続可能なくらしづくり

【基本施策①】

安心・安全・快適な
生活環境づくり

単位施策

①環境基盤の醸成
②マナー
・モラルの向上

《基本方針2》

学びあうみらいの人づくり

【基本施策①】

地域協働
・人づくり

単位施策

①環境学習
・環境教育の推進
②連携・協働による
環境保全活動の推進

《基本方針3》 環境に配慮した社会づくり

【基本施策①】

循環型社会づくり

【基本施策②】

脱炭素社会づくり

【基本施策③】

自然共生社会づくり

【単位施策】

①廃棄物の適正処理
②連携・協働による
循環型社会の推進

【単位施策】

①環境にやさしい
ライフスタイルの促進
②環境に配慮した
事業活動の促進
③環境負荷の少ない
まちづくりの推進

【単位施策】

①生物多様性への理解促進
②多様な生態系への保全
③水と緑の
ネットワークづくり

6 指標一覧

《基本方針1》 持続可能なくらしづくり			
基本施策	成果を測るものさし（成果指標）	現状値	目標値
①安心・安全 ・快適な生活 環境づくり	公害苦情発生件数	85 件	75 件
	「ごみの散乱がなくきれいな景観づくりに満足している」市民の割合	61.8%	70.0%
《基本方針2》 学びあうみらいの人づくり			
基本施策	成果を測るものさし（成果指標）	現状値	目標値
①地域協働 ・人づくり	「地域のイベントに協力している」市民の割合	34.2%	40.0%
	クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の活動回数	6 回	10 回
《基本方針3》 環境に配慮した社会づくり			
基本施策	成果を測るものさし（成果指標）	現状値	目標値
①循環型 社会づくり	ごみ(資源物を除く。)1 人 1 日当たりの排出量	650g	590g
	資源化率	25.7%	30.0%
②脱炭素 社会づくり	市内の二酸化炭素排出量	1,188 千トン (2021 年度)	567 千トン
	「太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や節電などの省エネルギーに取り組んでいる」市民の割合	32.9%	40.0%
③自然共生 社会づくり	「緑を植えたり、緑を守ることに取り組む」市民の割合	46.8%	55.0%
	「水辺や緑と親しめる空間の整備に満足している」市民の割合	49.4%	60.0%

※成果を測るものさし（成果指標）の「現状値」は、原則として 2018 年度の値とし、異なる場合には表中に年度を記載

大府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の目標				
	2013 年度 【実績値】	2030 年度 【目標値】	2050 年度 【長期目標】	(参考) 改定前計画
総排出量	1,135 千 t-CO ₂	567 千 t-CO ₂	排出実質ゼロ※	864 千 t-CO ₂
2013 年度比	—	△50.0%		△26.0%

※排出実質ゼロ：CO₂などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること

大府市地域気候変動適応計画の目標			
項目	目標	現状値	
		数値	年度
治水対策量の達成率	72%	66.9%	2022
「震災や水害に対する防災対策に満足している」市民の割合	50%	39.2%	2022

※第6次大府市総合計画の施策評価指標を引用